

郡山市セーフコミュニティ推進協議会 「防災・環境安全対策委員会」



報告者 委員長 國分晴朗

1 防災・環境安全対策委員会を設置した理由

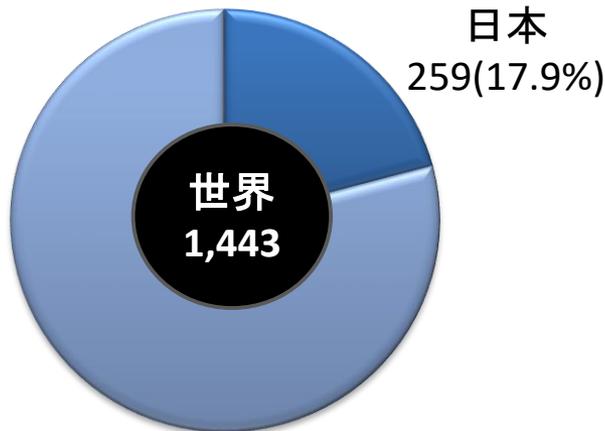
理由① 災害を受けやすい日本

世界全体に占める日本の災害発生割合は、マグニチュード6.0以上の地震回数17.9%、活火山数7.9%など、世界の0.25%の国土面積に比して、非常に高くなっています。

地震発生回数

(マグニチュード6.0以上)

2011～2020年の合計



活火山数

(過去1万年に噴火した火山)

日本



注) 日本については気象庁。
世界については米国地質調査所及び
米国スミソニアン自然史博物館の
資料をもとに内閣府が作成。

内閣府公式ウェブサイト
防災情報のページより
一部引用

理由② 大きな災害を経験

(1) 東日本大震災 (2011.3.11発生)

●人的被害 死者1名 重傷2名 軽傷2名

●建物被害

	全壊	半壊	一部損壊	その他	計
公共施設	0	8	61	134	203
住家	2,294	18,749	32,062	168	53,273
店舗等	278	918	4,333	30	5,559
計	2,572	19,675	36,456	332	59,035

●道路・橋りょう・河川・農業施設等

亀裂	隆起	陥没	その他（護岸崩壊等）	計
789	160	997	755	2,701

●水道施設（震災発生直後）

漏水箇所 約1,000か所 断水戸数 約37,000戸（断水人口 約97,000人）

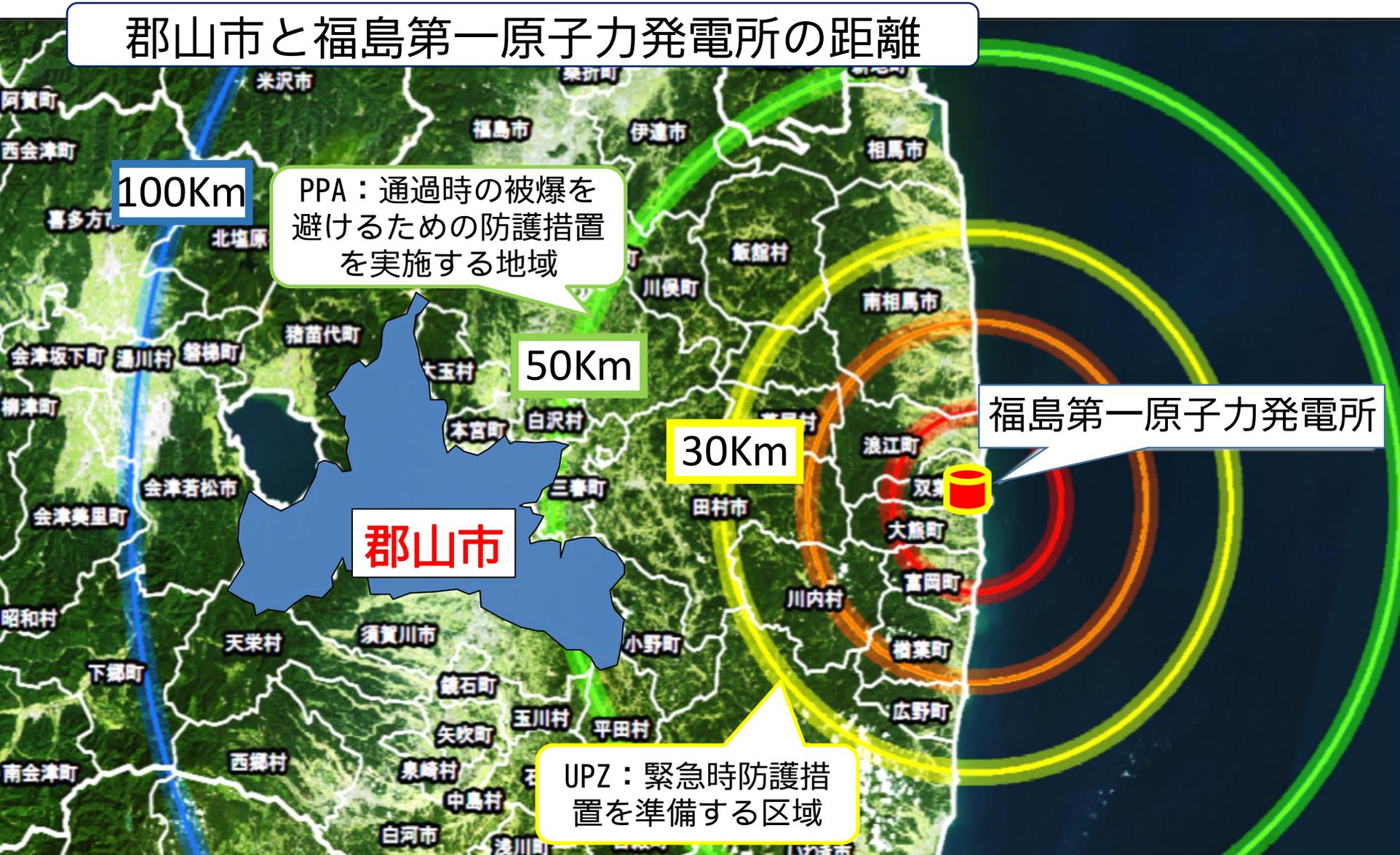
●下水道施設（震災発生直後）

被災管路延長 約7,050m マンホール等破損 536か所

郡山市にとっては、気象庁が観測を開始以来、初めての大規模な地震災害であり、甚大な被害をもたらしました。

(2) 福島第一原子力発電所の事故

郡山市と福島第一原子力発電所の距離



原発事故による郡山市への影響

事故直後の住民の不安は大きかった

【事故当初】 平常値より高い放射線量となり、子どもたちの屋外活動の制限や、汚染物質の除去（除染）等が必要となった。
 子どもを中心に、県外への自主避難が行われ、人口が減少した。
 【現在】 住宅の除染は完了し、放射線量も著しく低下した。

図4

これまでに放射線による健康被害は発生していません。

出典 郡山市の原子力災害対策(第17版 2022.3)

測定場所	2011/3/29	2021/11/30	低減率
	空間放射線量		
郡山合同庁舎	2.59 $\mu\text{Sv/h}$	0.07 $\mu\text{Sv/h}$	97.3%
郡山市役所	2.57 $\mu\text{Sv/h}$	0.12 $\mu\text{Sv/h}$	95.3%

市民の意識の変化

出典: 2022年度郡山市セーフコミュニティ市民意識調査

	2014	2016	2018	2020	2022
原子力災害に対する不安?	65.1%	34.8%	30.1%	18.1%	15.7%

住宅除染等が完了するなど、市民の不安は大幅に減少

(3) 令和元年 (2019) 東日本台風

令和元年台風第19号は10月12日に日本に上陸し、関東地方・甲信越・東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害が発生しました。本市では、10月11日15時から13日6時までの期間降水量が195.5mm、最大24時間降水量が194.0mm、最大1時間降水量は27.0mmとなり、1976年の統計開始以降、10月の最高値を記録しました。

種別	被害内容
死者	6人
全壊 防火水槽	1,306箇所
大規模半壊	1,921箇所
半壊	4,651箇所
床上浸水	6,542箇所
床下浸水	847箇所
工業・商業損害額	361億9千万円
農作物等被害	30億663万円

避難情報等	【避難勧告等】
河川（洪水）	85,009人
土砂災害	52,048人
避難所開設数	42箇所
避難者数	3,973人



2019.10.13 郡山地方広域消防組合



(株)スペースワン提供



(株)スペースワン提供



陰山建設(株)提供

(4) 令和3年(2021)福島県沖地震

地震の概要

発生日時	2月13日23時07分
震源の深さ	福島県沖深さ5.5km
地震の規模	マグニチュード7.3
本市の震度	【郡山市・湖南】震度6弱（最大震度6強：山形県蔵王町等）

被害概要 (2021.9.30現在)

種別	被害状況
人的被害(負傷者)	13人
建物被害	
全壊	93棟
大規模半壊	67棟
中規模半壊	166棟
半壊	1,100棟
準半壊	2,429棟

避難状況

開設避難所数	17箇所
最大収容人数	21世帯29人

ライフライン

停電(最大)	約13,600戸
水道	漏水55件
	断水50戸
ガス漏れ	2件



市営水泳場（開成山水泳場）



幕内橋



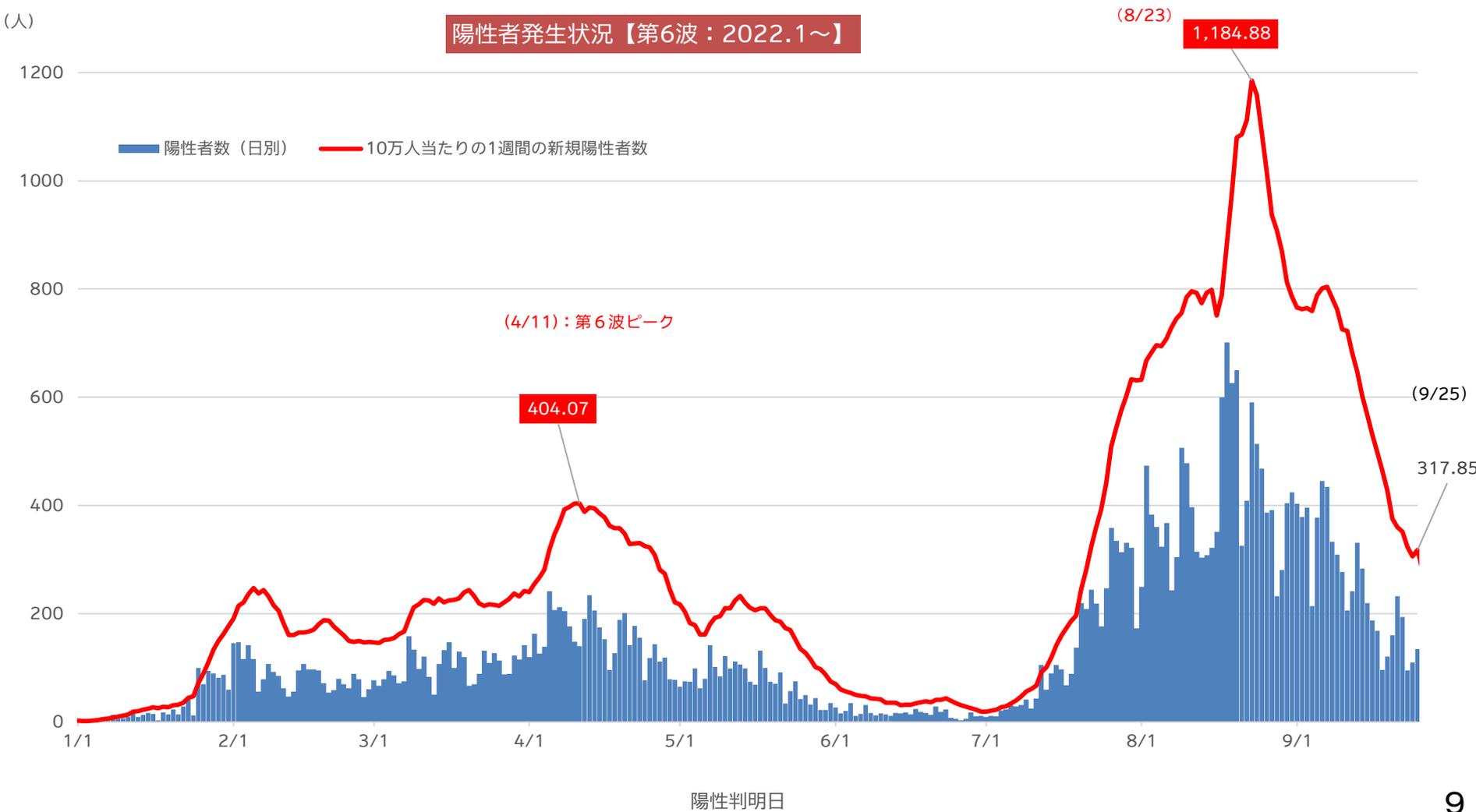
郡山駅前地区（大町）



文化施設（開成館）

【参考】新型コロナウイルス感染症の感染状況

2022年における郡山市の新規感染者は、4月（第6波）と8月（第7波）に流行の波が発生しました。



理由③ 災害をなくすことはできない。 しかし、被害を減らすことはできる。



- ### ハードウェアの対策（実施中の例）
- ・ インフラの耐震化
 - ・ 通信や送電系統の冗長化
 - ・ 消防力の増強
 - ・ 河川改修による治水
 - ・ 避難所の拡充
 - ・ 緊急ヘリポート
 - ・ 物資備蓄の充実
 - ・ 等
 - ・ 気象観測施設の整備
 - ・ 建物の耐震化
 - ・ 耐震性貯水槽の設置

- ### ソフトウェアの対策（実施中の例）
- ・ 防災計画（国・県・市）
 - ・ 防災訓練（国・県・市）
 - ・ 応急復旧技術の向上
 - ・ 業務継続計画
 - ・ 自治体間・民間の相互応援協定
 - ・ 国土強靱化計画
 - ・ 重要データのバックアップ
 - ・ 等

2 防災・環境安全対策委員会の構成

住民組織 6名

- 自主防災連絡会
- 自治会連合会
- 消防団
- 明るいまちづくり推進委員会協議会
- 婦人団体協議会
- 女性消防協力会

全16名

関係団体 4名

- 郡山労働基準協会
- 郡山地方消防防災協会
- 文化・学び振興公社
- 福島さくら農業協同組合

行政 6名

- 郡山地方広域消防組合消防本部
- 環境政策課
- 河川課
- 開発建築指導課
- 上下水道局経営管理課
- 園芸畜産振興課

3 「防災・環境安全対策委員会」の活動経過

開催（実施）日	内 容	
2020年4月21日	第1回対策委員会	新型コロナウイルス感染拡大防止の注意喚起
2020年7月7日	第2回対策委員会	活動の振り返り
2020年11月17日	第3回対策委員会	令和元年東日本台風の被害概要と対応 他
2020年11月18日	第4回対策委員会	鹿児島市現地審査オンライン視聴
2020年12月25日	第5回対策委員会	都留市事前指導オンライン視聴
2021年6月28日	第1回対策委員会	重点課題と各指標の確認今後のスケジュール
2021年7月2日	第2回対策委員会	【書面】既存の各指標に対する意見照会
2021年7月13日	第3回対策委員会	秩父市事前指導オンライン視聴
2021年8月17日	第4回対策委員会	【書面】アンケート調査の各委員への意見照会
2021年10月7日	第5回対策委員会	事前指導等資料の確認
2021年11月17日	第6回対策委員会	郡山市セーフコミュニティ事前指導
2022年1月28日	第7回対策委員会	【書面】市民意識調査内容の協議
2022年4月15日	分野別対策委員会 第1回対策委員会	活動の振り返りと今後の予定について
2022年7月29日		豊島区現地視察オンライン視聴
2022年8月16日	第2回対策委員会	【書面】周知用チラシへの意見照会
2022年9月22日	第3回対策委員会	【書面】現地調査資料への意見照会

市民の意識① 災害に対する不安

(回答数 n=1,680)

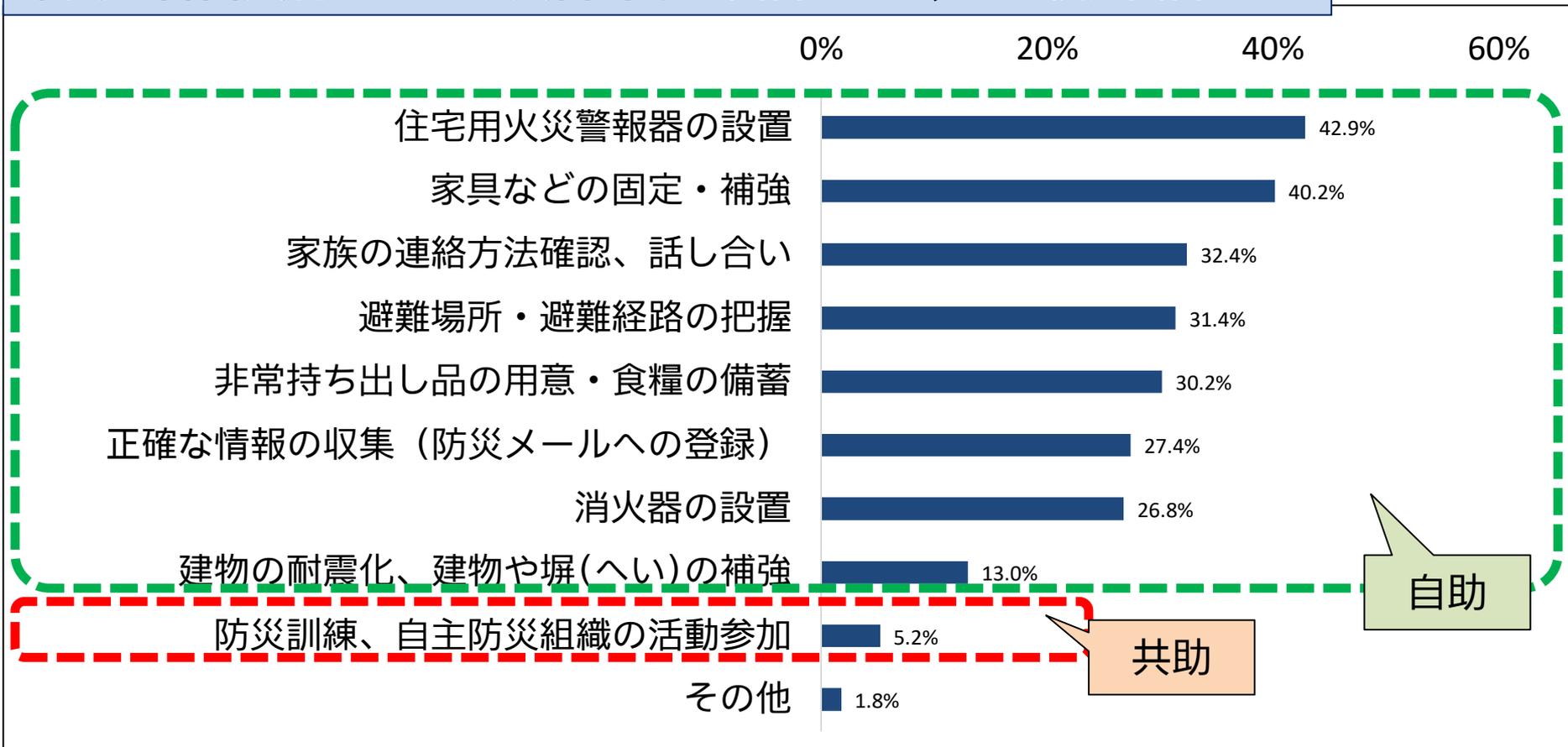
地震が77.7%と一番多く、また風水害が30.4%で自然災害は強い不安要因となっている結果であった。交通事故が2番目（39.6%）に多かった。

順位	けがや事故などの要因	割合(※)
1	地震	77.7%
2	交通事故	39.6%
3	風水害	30.4%
4	火災	24.9%
5	新型コロナウイルスの影響によるけがや事故	23.2%
6	あおり運転	22.9%
7	窃盗、詐欺等の犯罪被害	19.6%
8	新型コロナウイルス感染者やその家族に対する差別、偏見、誹謗中傷	16.6%
9	原子力災害	15.7%
10	外出時の転倒・転落	14.9%
11	孤独・孤立・人間関係の希薄による不安	13.7%

市民の意識② 災害に対する各自の備え

一部に半数程度の実施が見られるが、「自助」「共助」の部分ともに低い。

市民が各自実施している災害対策 回答数 n=1,680 複数回答



出典：2022年度郡山市セーフコミュニティ市民意識調査

市民の意識③ 地域コミュニティへの参加

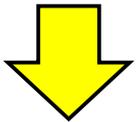
町内会

住民に最も身近な自治組織。
災害時には、避難誘導等において重要な役割を担う。

役割の例 ※郡山市地域防災計画より抜粋

例① 避難、避難状況の把握は町内会単位で実施
避難状況の掌握、又は避難住民との連絡調整は、避難が原則として町内会単位で実施されることから、各町内会の会長、あるいは町内会において、指名された者を窓口として行う。

町内会は、東日本大震災でも有効に機能しました。



しかし、加入率は低下している
63.2% (2016) ⇒ 61.9% (2022)

町内会加入状況 (2022年6月現在)

- ◆ 現在人口台帳世帯数 . . . 142,215世帯
- ◆ 町内会加入世帯数 . . . 89,452世帯

未加入 38.1%

加入 61.9%

出典:郡山市調べ

市民の意識④ 令和元年台風第19号のアンケート調査

図16

【実施時期】 2020年2～3月
 【回収数】 1,031件

【調査件数】 2,033件
 【回収率】 50.7%

調査結果

調査項目	回答	抜粋
		割合
必要な今後の取組み	災害時の連絡手段や避難ルール等の確認	56.0%
	情報収集方法の事前確認	52.5%
	避難所や避難ルートを自ら確認	49.9%
	町内会活動への参加、近所付き合いを深める	22.2%
	防災訓練や避難訓練に積極的に参加する	14.0%
避難の方法	自動車	89.4%
	徒歩	5.1%

市民の意識⑤ 出前講座アンケート調査

【実施時期】 2021年8月 【調査件数】 107件
 【対象】 氾濫した河川沿線の中学3年生

調査結果

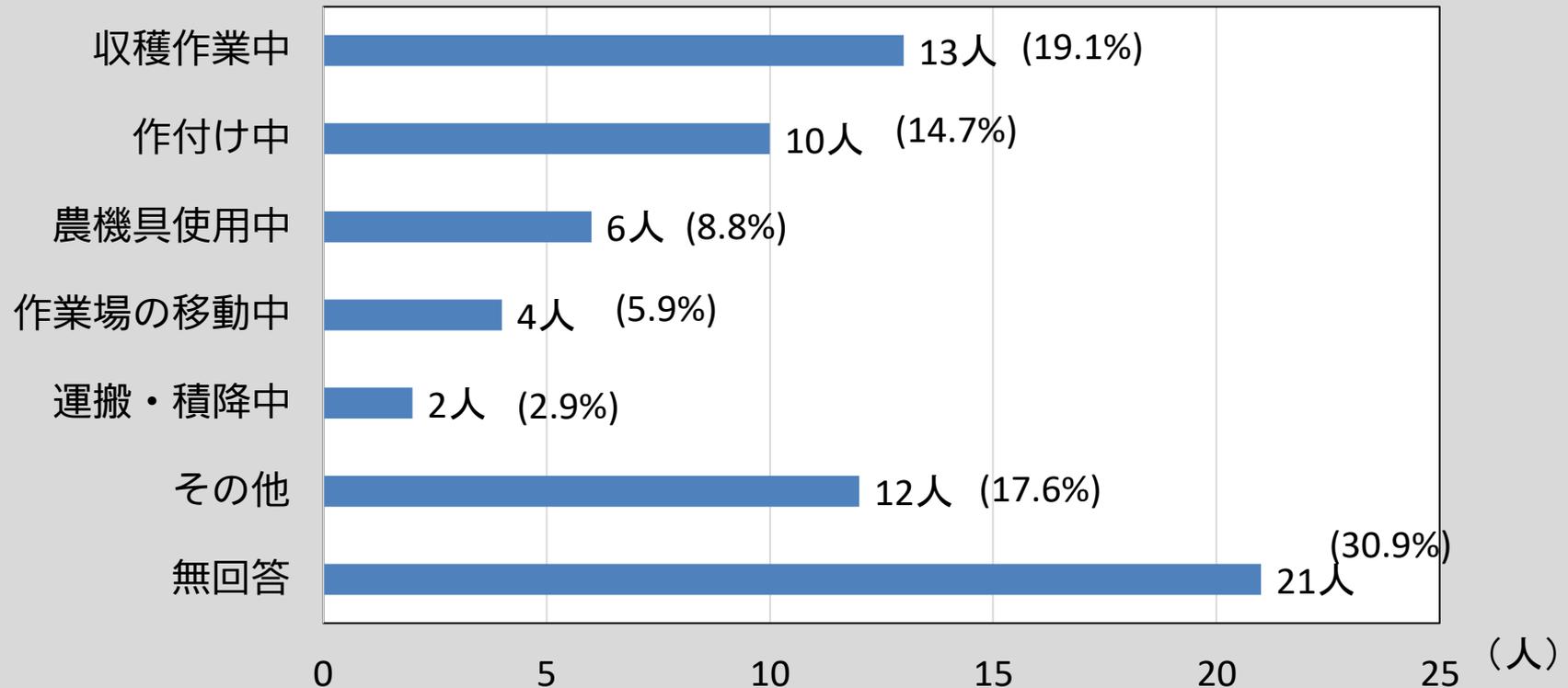
抜粋

調査項目	回答	割合
地域結束のため必要な取組み	地域での防災訓練（危機意識の向上）	39%
	イベントを開催する（お祭り、運動会）	33%
	リーダーを育成する	16%
地域活動への参加	清掃・廃品回収に参加	46%
地域活動の参加しやすさ	近くで実施していれば参加する	25%
	土日祝日であれば参加する	18%

市民の意識⑥ 農作業時におけるけがの発生状況

収穫作業中や農機具使用中にけがをした人が多い。

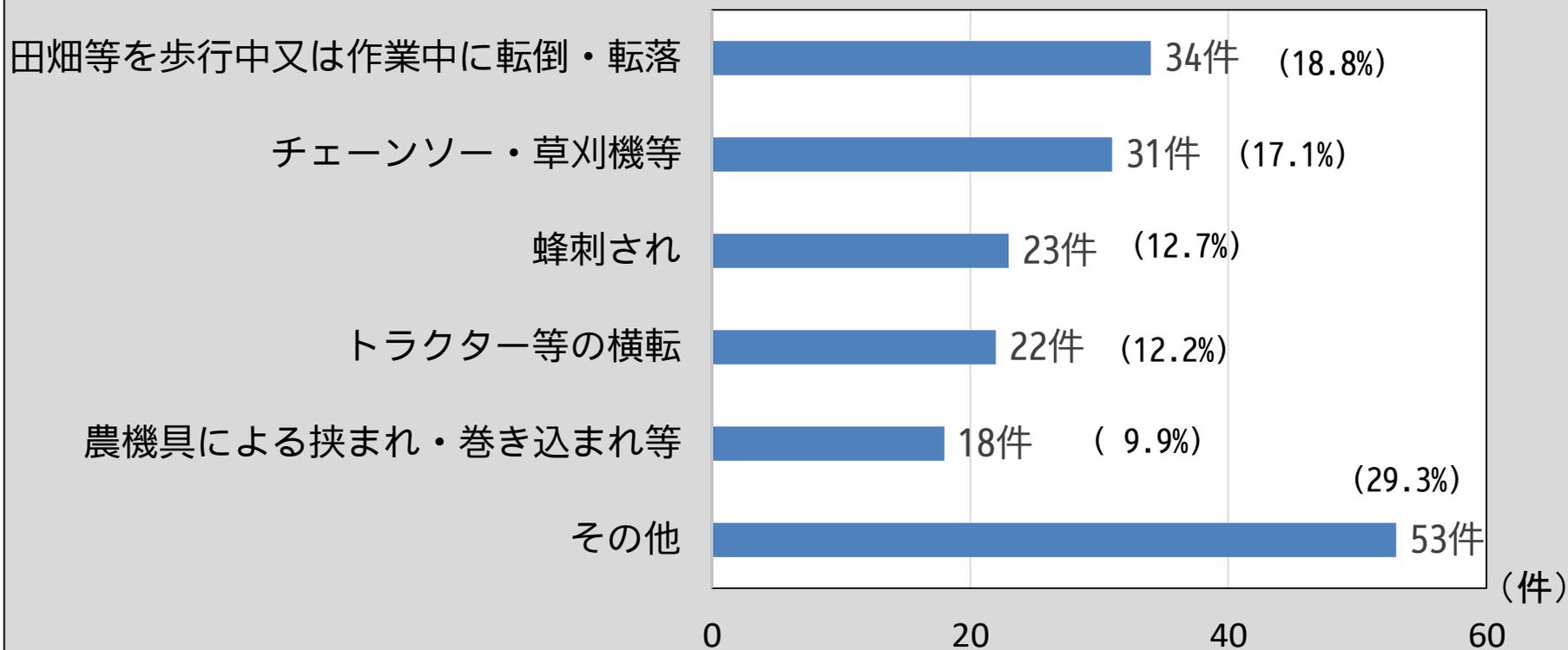
家庭菜園等を含めた農作業でこの1年間にけがをした人 (n=68)



市民の意識⑦ 農作業時における事故の発生原因

作業中や農機具使用中にけがをした人が、全体の中で多い。

2013年から2019年までの郡山地方広域消防組合消防本部管内において農作業中に発生した救急出動事案181件を分析



4 重点課題の選定

図13、14

課題
1

自然災害等の不安が大きいが、防災意識は低い。
(備えまで至る人が少ない)

図15、16、
17

課題
2

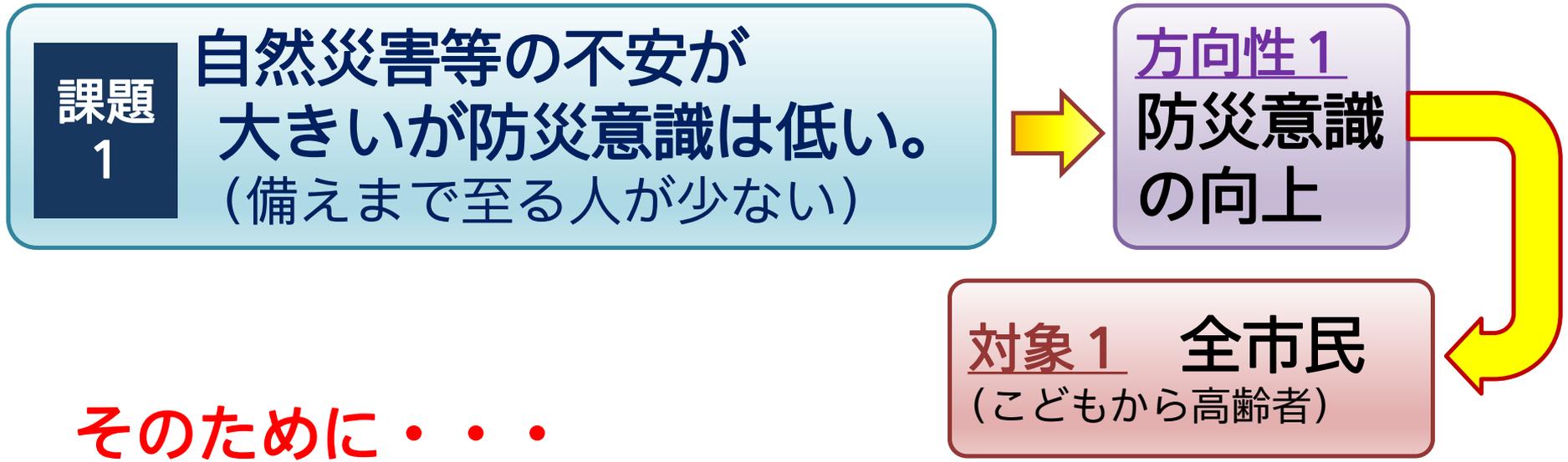
地域コミュニティが低下している。
(地域での防災体制が不十分)

図18、19

課題
3

労働者の災害が多い。
(農作業中のけがや事故が多い)

5 課題に対する方向性、対象、取組み

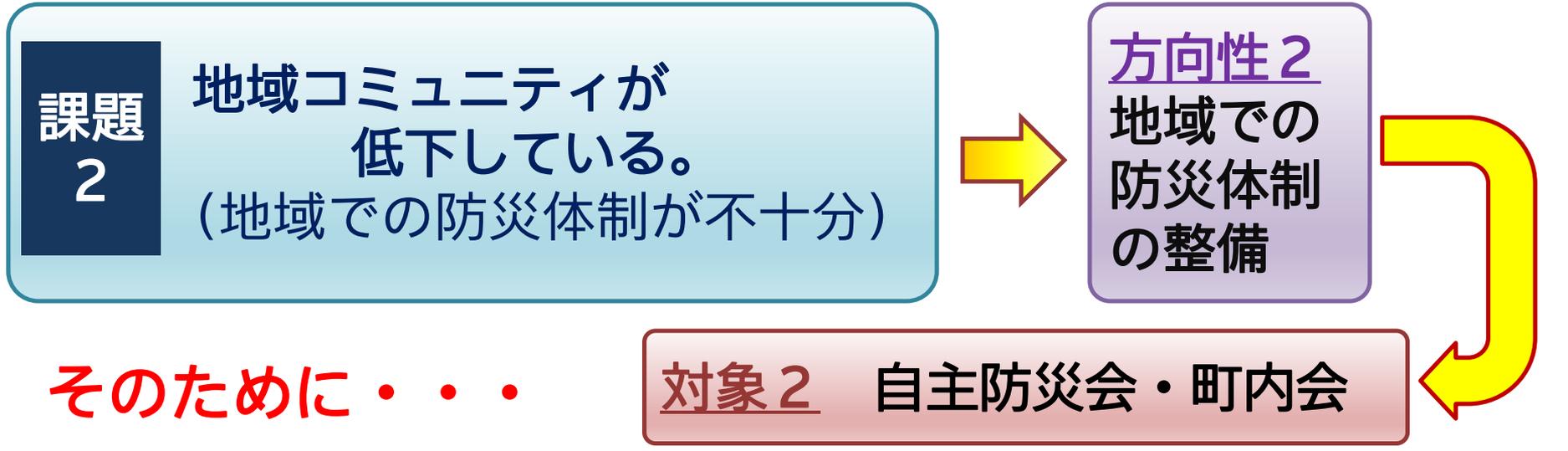


- ① こども(学校)を起点に家族まで巻き込む
- ② 家庭での備え、避難経路や連絡方法の確認実施

<p>主な取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災マップ作成の普及促進 ・ 学校や公民館等での防災学習促進 ・ 地域での防災啓発（回覧板、行事等）
--------------	--

<p>取組事例</p>	<p>① 【図25】 ② 【図26】 ④ 【図28】 ⑥ 【図29】 ⑦ 【図30】 ⑧ 【図31】</p>
-------------	--

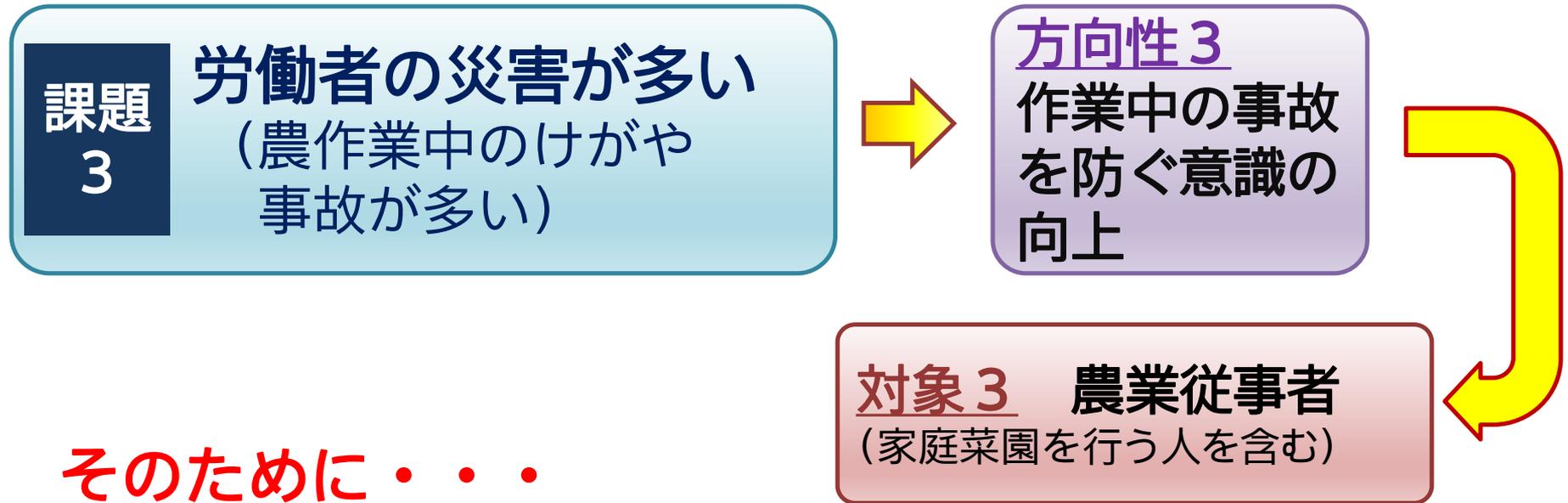
5 課題に対する方向性、対象、取組み



- ① 先進・モデル地区を選定
- ② 防災活動を通じた地区内・地区間の交流(助け合い)の活性化

<p>主な取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の防災活動への参加促進 (訓練、講演会等) ・ 防災意識アンケート実施
<p>取組事例</p>	<p>① 【図25】 ④ 【図26】 ⑤ 【図28】 ⑥ 【図29】</p>

5 課題に対する方向性、対象、取組み



- ① 関係店舗や各種機会を通じた広報
- ② 農作業時の安全に対する意識向上と対策実施

主な
取組み

- ・ 農作業中の熱中症対策の啓発
- ・ 身近な農機具の安全対策の啓発

取組事例

③ 【図27】

課題に対する取組み概要

課題	分類	国レベル	自治体レベル	地域レベル
① ② (共通)	環境改善	被災者支援制度 地域防災力充実	要支援者支援制度 防災組織支援・強化	要支援者見守り 避難誘導・救護
	規則・規制	法整備・計画策定	計画・マニュアル策定	計画策定
	教育・啓発	訓練・研修会実施	防災情報配信 訓練・研修会実施 防災冊子作成・配布	訓練・講習実施 地域内安全点検 防災意識啓発

課題	分類	国レベル	自治体レベル	地域レベル
③	環境改善	相談窓口開設 労災保険給付制度	相談窓口案内	安全衛生管理
	規則・規制	法整備・計画策定	マニュアル策定	マニュアル策定
	教育・啓発	安全衛生啓発 安全研修実施	安全衛生啓発 安全講習実施	従業員教育 安全点検啓発

※ 当該労働基準監督署管内



取組事例① 「郡山市総合防災訓練」

(新型コロナウイルスの影響から2020・2021は中止、2022年は延期)





取組事例②「啓発冊子配布（市主体）」

●わが家の防災ハンドブックの作成（改訂）・配布

【主な改定点】

- 「家庭防災の基本」編に家庭等で、日頃からの備え（防災行動計画）を作成するページを掲載。
- 避難所地図に想定浸水深を示し、自宅等の危険度を明示。
- 避難情報の解説(P1) や緊急連絡先等（表紙）を冊子構成の見直し

2021年5月末に町内会を通し全戸配布。

多言語（5カ国）版も更新

ハザードマップ 2020.4作成

保存版

わが家の防災ハンドブック

自分と家族の安全を守る
～いつもの備え、いざ！行動～

緊急時の連絡先

火事・救急 119番	警察 110番	災害用伝言ダイヤル 171番
防災・避難所開設情報等	防災危機管理課	924-2161
道路の陥没、冠水、陥没、土のう関係	道路維持課	924-2301
河川の溢れ、堤岸の崩壊	河川課	924-2701
下水道の溢れ	下水道保全課	932-7663
水道の断水、濁り水	水道施設課	平日:932-7642 休日:932-5236
農作物の被害	農芸畜産振興課	924-3761
農道の被害	農地課	924-3923
林道の被害	林業課	924-2251
大規模災害時専用電話	災害対策本部	924-2999
火災・救急・救助のテレフォンサービス	郡山地方広域消防組合	933-4000
停電・電線の故障	東北電力ネットワークセンター	0120-175-366
ガス漏れ、メーターの壊損等	(一社)LPガス協会郡山支部	943-8585
	東部ガス(株)福島支社	932-3333

郡山市

防災ハンドブック

Disaster Prevention Handbook ~ Evacuation Sites ~

防災手冊 ~災害時指定避難場所~
 防災手冊 ~災害時指定避難場所~
 방재 핸드북 ~재해 시의 지정 대피장소~
 Sổ tay phòng chống thảm họa ~Địa điểm lánh nạn được chỉ định trong trường hợp xảy ra thảm họa~

災害に備えて、命を守る

緊急時の連絡先 Emergency Contact Details
緊急聯絡方式 緊急联系方式
 긴급 연락처 Thông tin liên hệ trong trường hợp khẩn cấp

119 火事・救急 Fire or Emergency
110 警察 Police
171 災害用伝言ダイヤル Disaster Emergency Message Dial
 災害用留言撥號
 災害用留音電話
 재해용 전연 다이얼
 Tổng đài khi khẩn cấp xảy ra thảm họa

郡山市
 Koriyama City • 고리야시 • Thành phố Koriyama

郡山市 洪水ハザードマップ 全体図

2020（令和2）年4月

郡山市イメージキャラクター がくとくん おんぶちゃん

内水 ハザードマップ (ゲリラ豪雨の場合)

2020（令和2）年4月

■内水ハザードマップでは、郡山市で近年大きな被害が発生させた雨（時間あたり74mm、10分あたり23mm、総雨量101mm）が降った場合に浸水が発生する区域を想定しています。

■浸水の予想される範囲は、雨の降り方や土地利用の変化などにより、変わることがあります。

■このため、この地図で着色されていない区域でも、雨の降り方によっては浸水する可能性があり、表示の浸水深よりも深くなる場合がありますので注意してください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
 11 気候変動に具体的な対策を
 13 気候変動に一致
 SDGs 未来都市こおりやま

地区版 ハザードマップ
 QRコード



取組事例③『チラシ作成・配布』

●農作業中のケガや事故を防ぐため、出前講座の開催やチラシ等作成・配布

笑顔を未来につなげよう セーフコミュニティこおりやま

事前の点検・確認で農作業事故防止!!

農作業中の死亡事故は、全国で年間270件前後あり、そのうち機械作業に係る事故は約70%を占めています。
「慣れた作業だから」といって、ご自身の技術や知識を過信せず、もしもの事態を想像し、機械や保護具を正しく使いましょう。

農作業中にけがをした割合(状況別) [2020年市農業調査]

無防備	30.9%
作業中	19.4%
作業後	15.2%
作業前	34.5%

新たな農業機械! **刈払機の安全対策**

けがや事故が多い場面

- 不安定な姿勢によるもの (滑った、転んだ、側溝などに転落した)
- 周辺環境によるもの (石や空き缶、チップソー飛散で負傷)
注:刃は原則反時計回し回転します。
- 回転している刃によるもの (刃が回転したまま手足が接触して負傷)

けがをしないためには

- 傾斜面・法面の一部に平坦な小さい段を設置、スパイク靴の着用も有効
- フェースガードまたはゴーグル、安全靴、飛散防止カバーなどを正しく着用
- 草むらに潜む穴や溜樹、切り株、大きな石、空き缶などがなければ事前点検
- 刃に絡まった草を取り除くときや刈払機を置くときは必ずエンジンを停止

私達は、けがや事故を防ぐ国際標準の安全・安心に取り組んでいます。
2018.22 国際認証取得

笑顔を未来につなげよう セーフコミュニティこおりやま

農作業時の熱中症に注意しましょう!!

新型コロナウイルス感染症対策として、「新しい生活様式」を取り入れた生活を心がけるとともに、特に、**野外での長時間の農作業時**は、こまめな水分補給や暑さを避けるなど、熱中症対策をしっかりと行いましょう。

※マスク着用により、熱中症のリスクが高まります。
野外で人と2m以上(十分な距離)離れているときにはマスクをはずし、作業を行いましょう。

天気予報と体調の確認

日頃から天気予報をチェックして、気温・湿度が高い時は特に注意を。体調不良時は無理をしない。

こまめな水分補給と休憩

のどが渇く前に水分補給する。涼しい場所で適度に休憩する。

暑さをしのぐ服装 安全な作業環境

帽子と通気性の良い衣類を着用する。暑いハウスの中は風通しをよくしてから作業を行う。

高齢の方は特に注意!

高齢の方は、暑さや喉の渇きを感じにくくなっています。
黒い人が積極的に声をかけてあげましょう。

体調に変異を生じたら作業中斷!

涼しい場所に避難させる → 衣服を脱がせ、身体を冷やそう → 特に首・顔の下・大血管部の付け處 → 水分を補給する → 自力で水を飲めない、意識がない場合は直ちに救急隊を要請しましょう

私達は、けがや事故を防ぐ国際標準の安全・安心に取り組んでいます。
2018.22 国際認証取得

第41号 農政だより

SDGs 未来都市 こおりやま
50%削減目標達成
50%削減目標達成

～農家の皆さんへ～

郡山市 農政だより 第41号

【こおりやま園芸カレッジ】のご案内 園芸振興センター ☎957-2880

園芸振興センターでは、専攻ある農業従事者を育成することを目的に、1年を通じて園芸作物の栽培技術を学ぶ「こおりやま園芸カレッジ」を実施しています。

- 対象: こおりやま産地直売所管内に在住する18歳以上50歳以下の方
- 内容: 野菜、花き栽培技術の習得のための講義、実習、市内先立農業研修等
- 費用: 材料(土、肥料費、病害保険料等)については自己負担
- 農業次世代人材投資資金(伊勢国庫)に申込しています。

<体験入校>

令和4年度入校希望者を対象に、体験入校を実施します。

- 日程: 1回目 10月11日(月)午前9時30分～12時
2回目 10月12日(火)午前9時30分～12時
※2日にわたって実施です。
- 申込: 園芸振興センター(郡山市東郡山多田野字東馬場161)
- 申込: 10月6日(水)まで(園芸振興センターに電話(024-957-2880)又はFAX(024-957-0019)で(体験申込書、住所、電話番号を明記))
- ※カレッジの開催場所は下記のとおりです。

<研修生インタビュー>

4月からこおりやま園芸カレッジで研修している高田和秀さん、岡部裕さん、大沼真由美さん(以下インタビュー)と話をしました。

研修生としての感想は?

(高田) 基本的なことから教えてもらえたことがよかったです。園芸振興センターでの実習現場でも研修るので、農具によっては、は場所から何度も何度も研修現場まで移動する必要があることも実感しています。

(岡部) 研修として楽しく受講しています。ハウス1棟と露地栽培をそれぞれで自分で栽培できるので、計画から自分で立てることが大変ですが、自ら進んで自分で研修があることで達成感も感じています。

(大沼) 研修生が受けられることがよかったです。研修生として研修を受けるのは初めてです。研修生が受けられることで、研修現場での研修を受けることができ、研修現場での研修を受けることもできています。研修現場での研修を受けることで、研修現場での研修を受けることもできています。

「農政だより」年2回

「SC啓発チラシ」

2022.10.22
市総合防災訓練



「こおりやまの米」通信 年7回

米の通信

令和4年度(2022年)の稲作は、天候不順による凶作と見られており、米の収穫量は前年より減少する見込みです。この通信では、稲作の現状や今後の取り組みについてお知らせいたします。

【稲作の現状】

令和4年度(2022年)の稲作は、天候不順による凶作と見られており、米の収穫量は前年より減少する見込みです。この通信では、稲作の現状や今後の取り組みについてお知らせいたします。

【今後の取り組み】

稲作の現状や今後の取り組みについてお知らせいたします。



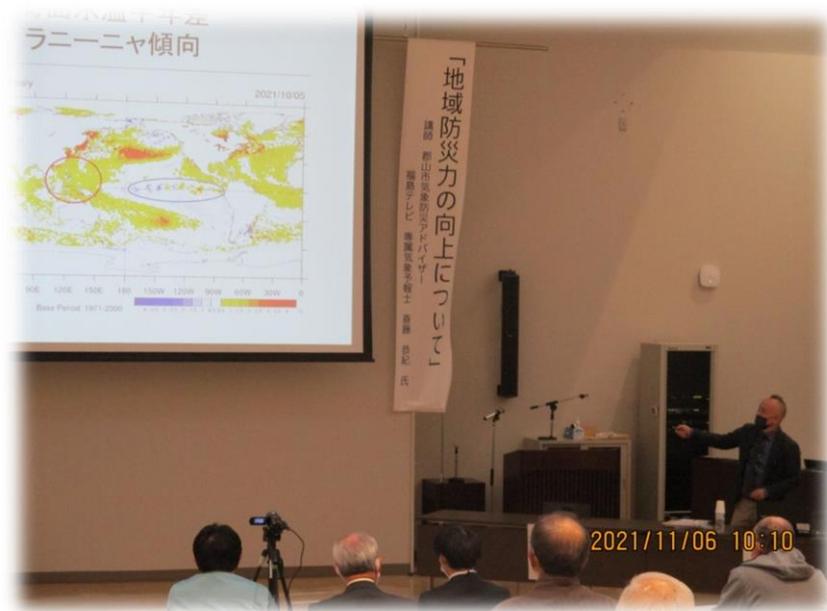
取組事例④ 「情報収集訓練研修」

本年5月の災害対策基本法改正に伴う避難情報の変更点や災害情報の取得方法など、市民の方々が災害への備えを習得し、地域防災力の向上につなげるための研修が行われました。

【日 時】 2021.11.6（土） 10:00～11:30（YouTubeライブ配信）

【参加者】 市民、自主防災組織、女性消防協力会等：約60名

【演 題】 地域防災力の向上（講師：郡山市気象防災アドバイザー）



取組事例⑤「防災士養成講座など（人材育成）」

地域の防災リーダーの育成のため、防災講演会の開催や市民防災リーダー講習会のほか新たに防災士養成研修を実施。

●防災士養成講習会（2020～）

【参加者】

市民（自主防災組織、民間企業等）

【参加人数】

50名（今後年間50名を養成予定）

●（既存）市民防災リーダー講習会（2004～）

【参加者】市内自主防災組織から

【参加人数】26名（2019年）

【内容】

- ・講義、演習、救命救急、図上訓練
- ・2020、2021年はコロナ禍で中止

●（既存）郡山市自主防災組織連絡会「講習会」

【参加者】自主防災組織会員等

【参加人数】約100名

【内容】・気象防災アドバイザーの防災講習

- ・2020、2021年はコロナ禍で中止



防災士養成講習会（2022）



市民防災リーダー講習会(2020)



取組事例⑥ 「市政きらめき出前講座」

- 小中学生から高齢者まで、幅広い年代の市民に対し実施
- 2020年度 17回 628人 (2020-2021コロナ禍、減少傾向)
- 2021年度 24回 1,344人 ※WEB講座も実施
- 2022年度 18回 1,286人 (2020.9.30現在)
- 【参考】2019年度 39回 2,345人 (新型コロナ流行前)



講師



受講者

新型コロナ対策
Web会議による
「出前講座」

阿武隈川沿いの
中学校（3年生）



取組事例⑦ 「災害情報等の伝達（市主体）」

新たに、河川沿い防災行政無線の増設、避難所開設状況や使用状況を確認できる情報アプリ「VACAN」などを導入するなど情報体制の強化

郡山市の災害・感染症等情報を配信します

気象情報や国民保護情報をはじめ、市内で発生した災害情報や避難指示等の住民避難情報、新型コロナウイルスの感染症情報や、熱中症情報などについて、さまざまな手段で配信しています。
メールマガジンやSNSなどに登録して、最新の防災情報を入手しましょう！

防災(防疫)ウェブサイト

防災(防疫)専用のウェブサイトです。
PC用 <https://bousai.koriyama-fukushima.jp/>
スマートフォン・スマホ以外の携帯電話 <https://bousai.koriyama-fukushima.jp/sp/>

防災行政無線

市内の小中学校や公民館、公園などに設置した屋外スピーカーから放送を流します。
※お住まいの地域や気象条件により聞きとりにくい場合は他の配信手段で内容をご確認ください。

メールマガジン

防災ウェブサイト内の「防災メールマガジン」から登録いただくことができます。
PC用 <https://bousai.koriyama-fukushima.jp/contact2>
スマートフォン <https://bousai.koriyama-fukushima.jp/sp/mag/>

コミュニティFM放送

「郡山コミュニティ放送(コヤマFM)」から放送します。
※番組放送中でも強制割り込みで災害情報をお知らせします。
周波数・・・FM79.1MHz

SNS(フェイスブック、ツイッター)

フェイスブック、ツイッターに登録されている方が「いいね!」や「フォロー」していただくことで利用できます。

テレビ(NHKデータ放送)

NHKのデータ放送で確認できます。
リモコンの「dボタン」を押すとL字画面に切り替わります。

電話ガイダンス

災害時などには、災害情報などの防災行政無線の内容を新着順に電話でお知らせします。
※防災行政無線の放送が無い場合、注意喚起などの行政情報をお知らせします。(ぼうさい 郡山)
【フリーダイヤル ☎0120 - 131 - 963】

スマ保 災害時ナビ

災害時に役立つスマートフォンアプリです。
※スマートフォンのGPS機能を使って現在地情報を取得し周辺の避難場所等が表示されます。
※現在地から避難場所までのルートを表示したり、避難場

緊急速報メール

NTTドコモ、au、ソフトバンク、楽天モバイルの携帯電話に送信されます。
※情報は発信時点で市内にいる方に配信されます。
※機種により設定が必要なものや受信できないものがあります。

VACAN

各避難所の位置や開設状況、リアルタイムの混雑状況を確認できます。

河川沿いに
2021年：2箇所
2022年：1箇所
増設し、
合計152箇所

VACAN
(避難所の空き状況のお知らせ)



取組事例⑧ 「避難所の拡充（市主体）」

- 民間企業等の施設の一部を借用し避難所を確保
- 車での避難を希望する市民へ車中避難スペースを確保(2020～)

避難所名	区画数	車中避難場所	駐車台数
学校法人郡山学院 ケイセンビジネス	89区画	ビックパレットふくしま 駐車場他（12施設）	2,307台
学校法人東都学園 郡山健康科学専門	127区画	ニラク（9店舗）	3,230台
新協地水（株）	25区画	公園（14箇所）	1,344台
日本大学工学部	246区画	カルチャーパーク駐車場 他（2箇所）	1,817台
帝京安積高校	200区画		

【その他】

郡山市旅館ホテル組合との協定締結旅館・ホテルを活用した避難場(2020.9.23)

これまでの取組みによる成果

短期・中期成果指標

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
防災学習（出前講座等） 受講者数	426人	886人	1,173人	2,280人	628人	1,421人
家庭や地域における 災害対策実施者数	6,226人	6,773人	7,081人	8,045人	240人	140人
地域防災マップ作成団体数	2団体	-	3団体	2団体	-	2団体
防災活動への参加者数	6,226人	6,773人	7,081人	8,045人	240人	140人

長期成果指標

新型コロナ

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
【防災に対する意識】 地域の防災活動に						
・参加したことがある	-	18.6%	-	17.6%	-	20.6%
・参加したことがない	-	75.3%	-	77.8%	-	77.1%
参加しない理由						
・実施していることすら不明	-	42.2%	-	48.6%	-	48.0%
・人付き合いが苦手	-	9.2%	-	11.5%	-	13.4%

各課題における問題点と今後の進め方

重点課題	問題点	今後の進め方
①	幅広い年齢層へ防災力の向上を進めるためには、新型コロナ禍への対応を含め学校や企業等の理解が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・市や地域で行う防災に関する事業をあらゆる機会・手段を用いて、学校、企業等へ積極的に周知する。 ・Web方式等対面以外の活動方法の検討する。
②	自主防災組織の母体となる町内会加入率の低下。 また、地区により、防災活動状況や近隣同士の交流（助け合い）に温度差がある。	先進的な市内の（モデル地区）との交流や先進都市の事例紹介などにより、他の地区への普及につなげる。
③	無理をしがちな高齢作業者の意識改善や不特定多数の家庭菜園を行う人へ直接啓発は難しい。	協力店舗等からの意見を踏まえ、対象者の興味をひく啓発方法と機会を検討する。

ご清聴ありがとうございました。